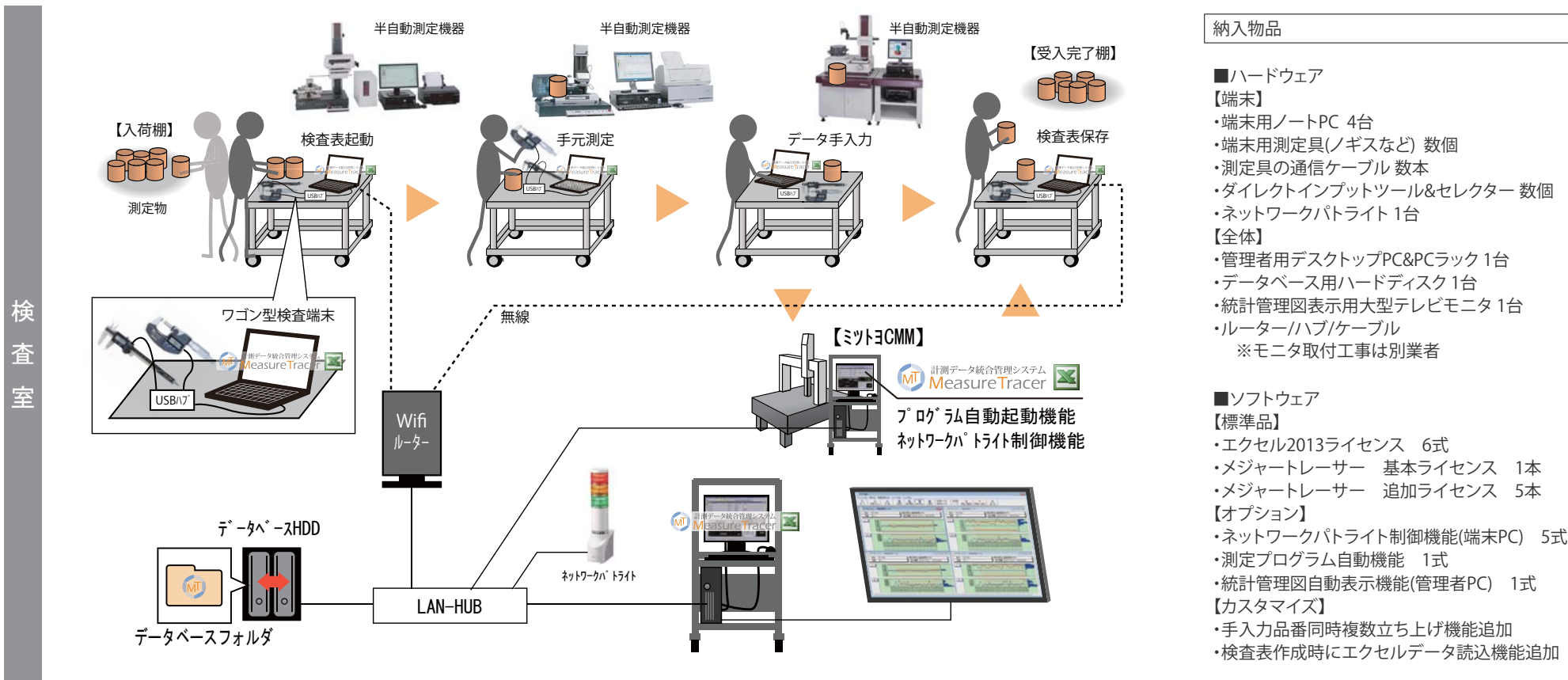


導入事例1:多品種外注品受入検査部門での多端末型システム (自動車部品メーカー)

数百種におよぶ外注品の受入検査現場に導入、測定が難しい現場において、ノートPCの機動性を最大限に活用し、データベース化に成功した。特に不定期品では難しかった**数年前のデータとの比較が即時に実行**できるようになり、受入可否の妥当性が**飛躍的に高まった**ばかりでなく、**外注先へは的確な指摘**が行えるようになることで**部品品質の向上**につながった。



納入物品

- ハードウェア
- 【端末】
- ・端末用ノートPC 4台
- ・端末用測定具(ノギスなど) 数個
- ・測定具の通信ケーブル 数本
- ・ダイレクトインプットツール&セレクター 数個
- ・ネットワークパトライト 1台
- 【全体】
- ・管理者用デスクトップPC&PCラック 1台
- ・データベース用ハードディスク 1台
- ・統計管理図表示用大型テレビモニタ 1台
- ・ルーター/ハブ/ケーブル
- ※モニタ取付工事は別業者

- ソフトウェア
- 【標準品】
- ・エクセル2013ライセンス 6式
- ・メジャートレーサー 基本ライセンス 1本
- ・メジャートレーサー 追加ライセンス 5本
- 【オプション】
- ・ネットワークパトライト制御機能(端末PC) 5式
- ・測定プログラム自動機能 1式
- ・統計管理図自動表示機能(管理者PC) 1式
- 【カスタマイズ】
- ・手入力品番同時複数立ち上げ機能追加
- ・検査表作成時にエクセルデータ読込機能追加

オペレータの作業手順

- 1:入荷品取って品番確認
- 2:メジャートレーサーで該当検査表(空白)を起動
- 3:半自動測定機器で測定開始→待機
- 4:手元の測定具で測定(データ入力)
- 5:半自動機器測定完了→データを手入力
- 6:次の機器へ移動(同様に検査)
- 7:検査表をデータベースへ登録、測定品を完了棚へ

管理者の役割

- ・パトライトNG発生時の処置決め、指示
- ・統計管理図異常発生時の分析、処置
- ・月次受入実績集計
- ・外注先への品質報告と改善要求